

「未来を拓く君たちへ」

# 学習の手引き

【後期：8・9年生用】




学園 那珂市立

中学校

名前

# 那珂市で目指す9年間の「学びのデザイン」

## ◆学びのプラン



校 種	小 学 校			
期 間	前 期 (4年間)			
学 年	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生
学 び の コ ン セ プ ト	 <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">                 学習習慣を身に付け、 「できること」を広げる時期             </div>			
学 ぼう と す る 力	○生活や学習の中から「なぜ」「どうして」などの疑問を見付け、考えることの楽しさ、分かることの喜びを味わう。		○仲間と楽しさ	
学 ぶ 力	○目的をもって調べたり、体験を基に考えたりする。 ○話すことや書いたことが、相手に伝わるように筋道を立てて表現する。		<b>知識・技能を</b> ○目的に結び付 ○事柄の順	
学 ん だ 力	○身に付けた知識・技能を授業で使う。 ○「できた」「分かった」ことを基に、疑問を見付ける。		<b>基礎</b> ○身に付 ○学習で見付け	

## ◆授業の心得

授 業 前	○授業と休み時間のけじめをつけ、着席する。		<b>次の授業に向</b> ○時刻を	
授 業 中	○与えられた課題に最後まで粘り強く取り組む。		<b>目標や目的をもって授業に取り</b> ○自ら課	
授 業 後	○「できた」「分かった」「見付けた」などを振り返る。		<b>何を学んだのか、学んだことが</b> ○分かったなどを	

## ◆家庭学習

学 年	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生
学 習 時 間 の 目 安	20 分 程 度		40 分 程 度	
学 習 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●宿題を最後までやり終える。</li> <li>●「読み」「書き」「計算」の基礎的な学習を行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●進んで宿題を行う。</li> <li>●自主学習で授業の予習や復習を行う。</li> </ul>	

<b>中 学 校</b>				
<b>中 期 (3 年間)</b>			<b>後 期 (2 年間)</b>	
<b>5 年 生</b>	<b>6 年 生</b>	<b>7 年 生</b>	<b>8 年 生</b>	<b>9 年 生</b>
 <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>追究ある楽しさを 経験ある時期</b> </div>			 <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>学びを夢の実現に つなげる時期</b> </div>	

### 学習に取り組む意欲

学び合う楽しさ、課題をもって追究するを味わう。

○他者の考えのよさを取り入れながら、学びを広げたり、深めたりする楽しさを味わう。

### 活用し、自ら考え、判断し、表現する力

合った方法で調べたり、学んだ知識や経験をけて考えたりする。  
序に沿って構成を考えて的確に表現する。

○目的に応じて情報を吟味したり、論理的、抽象的に考えたりする。  
○立場や考えの違いを踏まえて、構成を工夫して表現する。

### 的・基本的な知識・技能の習得

けた知識・技能を課題解決に使う。  
得た知識や経験を基に、新たな課題をる。

○身に付けた知識・技能を目的に応じて使いこなす。  
○学習を振り返って考え、新たな学びにつなげる。

### けた心構えと学習の準備が大切

守り、授業の準備をする。

○2・3分前に着席し、本時の学習内容につながる学習を進める。

### 組み、自ら考え、考えたことを表現することが大切

題を見付け、進んで課題に取り組む

○自ら課題を見付け、よりよい解決方法を追究して取り組む。

### らどんなことが分かったのが振り返ることが大切

たことから、他にどんなことが言えるのか振り返る。

○理解したこと、身に付けたことを生活や学習に関連付けて振り返る。

<b>5 年 生</b>	<b>6 年 生</b>	<b>7 年 生</b>	<b>8 年 生</b>	<b>9 年 生</b>
60 分程度		90 分程度	120 分程度	120 分 + $\alpha$
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 計画を立てて、学習を行う。</li> <li>● 自主学習(予習・復習・自分の課題など)を行う。</li> <li>● 各種テストに向けて計画的に行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自主的に予習・復習を行う。</li> <li>● 定期テストに向けて、計画的、継続的、系統的に取り組む。</li> <li>● 進路に向けて計画的に取り組む。</li> </ul>		

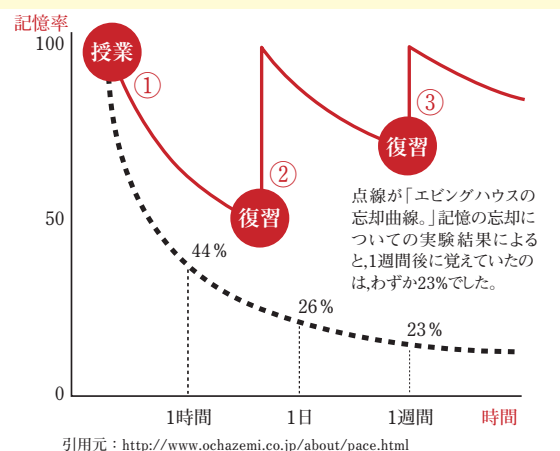
# 目次

那珂市で目指す9年間の「学びのデザイン」	1, 2	月のめあて 振り返り
学習の手引きの使い方	4	
保護者の皆様へ「家庭で学ぶ環境づくり」	5	
9年間を見通した家庭学習の確立を	6	
国語の学習のポイント	7	4月
社会の学習のポイント	8	5月
数学の学習のポイント	9	6月
理科の学習のポイント	10	7月
英語の学習のポイント	11	8月
音楽の学習のポイント	12	9月
美術の学習のポイント	13	10月
保健体育の学習のポイント	14	11月
技術・家庭の学習のポイント	15	12月
高校を選ぶ際の留意点	16	1月
茨城県立高等学校の入試情報	17	2月
私の受験勉強「那珂市の先輩からのメッセージ」	18	3月
最も心に残った学校行事はこれ！	19	
1年を振り返って「漢字一文字で表すと」	20	

## 家庭学習の必要性～その日のうちに復習を～

エビングハウス（ドイツの心理学者）の忘却曲線（右図の点線）というものがあります。この曲線は、「人はどのくらいのスピードで物事を忘れるのか」を表したものです。この曲線は、覚えた1時間後には、約半分は忘れ、1週間もすれば8割近く忘れており、忘れないで残る記憶は2割程度で、この記憶が残るというものです。

この曲線は物事を記憶した直後が1番忘れやすいということも示しています。ですから、記憶が新しいうちに何らかの復習をすることで、この忘れていく率（忘却率）は随分低くなることも証明されています（右図の朱線）。つまり、同じ復習をするのなら、学校で習ったその日のうちに復習をするのが有効であるということを示しています。学校での学びと家庭での学びをつなげていくのが、学力を定着させるためには不可欠であるということです。





# 学習の手引きの使い方

## 保護者の皆様へ

この学習の手引きは、学校や家庭で「学習する時に大切にしてほしいポイント（下記の①と②）」と月ごとの「めあて・振り返り（下記の③）」の2段構成になっています。

①, ②は、各教科の学習を進める上で、日常的・継続的に活用できるような構成となっています。

また、③は、月初めと月末を中心に、自分の家庭学習のめあてに対するがんばりの成果と課題を確かめるための欄となっています。

本学習の手引きについての趣旨をご理解いただき、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

## 生徒のみなさんへ

授業や家庭学習をするときの各教科ごとの3つのポイントです。

各教科の学習をするときは、この3つのポイントを意識して学習をすすめましょう。

月のめあてを決めるときや振り返りをするときなど、その都度確認しましょう。

学校の宿題が最優先です。宿題が終わったら、自主学習として挑戦するポイントが示してあります。

また、学習したことを自分の生活の中で活用していくポイントも示してあります。

### 【8・9年生】


国語の学習のポイント

**1 国語の学習の 3つの ポイント**

その1 **読む**  
目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読みましょう。

その2 **話す・書く**  
目的や意図に応じ、構成を工夫して話したり、読み手に分かりやすい文章を書いたりしましょう。

その3 **言葉**  
国語辞典や漢和辞典を使って、意味や言葉の働き、語句の使い方を調べましょう。




**2 家庭学習の 3つの ポイント**

その1 **読む**  
一冊の本を最後まで読む、大事な箇所を読む、多くの本に目を適すなど、本や文章を目的に応じて読み進めましょう。

その2 **書く**  
新聞の社説やコラムを読み、感じたことや自分が考えたことを家庭学習ノートに簡潔にまとめましょう。

その3 **プラス1**  
入試問題や難易度の高い問題にも、時間をかけてじっくり挑戦してみましょう。



4月のめあて・振り返り

**3**

	4月の学習のめあて	4月を振り返って	保護者印	先生印
8年				
9年				

月初めに家庭学習で「今月、力を入れたいこと」「今月、がんばりたいこと」などのめあてを決めましょう。

また、月末に自分の家庭学習を振り返り、成果と課題を確かめるとともに、次の月のめあての参考にしましょう。

## 保護者の皆様へ

那珂市では、平成27年度から小中一貫教育をスタートさせました。本市では、義務教育9年間を見通し、「学力向上」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」「自分らしい生き方や自立を目指す」という4つの分野に分けて系統的な指導をして、小中一貫教育を推進しています。

この「学習の手引き」は、子どもたちの「義務教育9年間の学習をつないでいくこと」と「学校と家庭の毎日の学習をつないでいくこと」で、自分の力で目標をもって学習をすすめることができるようにとの願いで作成しました。

保護者の皆様にもこの冊子の趣旨をご理解いただき、子どもたちの学習がさらに充実するよう、この冊子をご活用いただければ幸いです。

### 家庭で学ぶ環境づくり

～家庭と学校が協力し合って、子どもの「学ぶ力」を育てましょう～

その  
1

生活にリズムを！

「早寝 早起き 朝ごはん」が生活の基本となります。基本的な生活習慣づくりに努めることが大切です。

その  
2

学ぶ雰囲気大切に！

静かに集中できる学習の場所が必要です。身の回りを整理整頓させ、学習時間を決め、取り組ませましょう。

その  
3

読書に親しむ！

家庭での読書を続けましょう。



その  
4

先生と連絡を！

分からないこと、困ったことは、遠慮せずに先生に相談しましょう。

その  
5

一緒に家事を！

家族の一員としての責任感と自立心を育てましょう。



その  
6

進んで体力づくりを！

体力向上により、集中力や忍耐力が高まります。何事もあきらめず最後までやり遂げる心を育てましょう。

その  
7

情報との正しい付き合い方を！

携帯電話やインターネットは役立つ道具ですが、危険も併せもっています。持たせる場合は、ルールを決めて使わせるようにしましょう。

## 9年間を見通した家庭学習の確立を

校種	期間	保護者の構え	家庭学習の主なポイント	保護者のかかわりとして
小学校	前期	1・2年 ↓ 手をかける	◎ 宿題を最後までやり終える。 <b>習慣付けの1年生</b> ○ひらがな, カタカナ ○漢字 80 字の読み書き ○たし算, ひき算 <b>定着しはじめの2年生</b> ○漢字 160 字の読み書き ○かけ算九九	○ 一緒に学習し, ほめて子どものやる気を育てましょう。 ・家でも家庭学習の確かめ(丸付け)をしましょう。 ・学校からの連絡やお便りに目を通しましょう。
		3・4年 ↓ 声をかける	◎ 進んで宿題を行う。 ◎ 自主学習で授業の予習や復習をする。 <b>自分ではじめる3年生</b> ○漢字 200 字の読み書き ○ローマ字の読み書き ○国語辞典の活用 ○かけ算, わり算の筆算 <b>成長の節目, 4年生</b> ○漢字 200 字の読み書き ○漢字辞典の活用 ○わり算の筆算, 小数のたし算・ひき算 ○47 都道府県を覚える	○ 認めたりほめたりすることで, 進んで学ぶ態度や知的好奇心を育てましょう。 ・宿題に取り組むように声をかけ, 分からないところは一緒に考えるようにしましょう。 ・自主学習は, 辞典や地図, 新聞などを身近において活用させるようにしましょう。
	中期	5・6年 ↓ 目をかける	◎ 計画を立てて学習に取り組む。 ◎ 自主学習で授業の予習や復習をする。 <b>個性が育つ5年生</b> ○漢字 185 字の読み書き ○分数のたし算・ひき算, 小数の計算 <b>進学に希望をもつ6年生</b> ○漢字 181 字の読み書き ○分数のかけ算・わり算, 速さの求め方 ○新聞やインターネットの活用	○ 計画的に学習に取り組めるよう見守り, 子どもの学ぶ意欲を伸ばしましょう。 ・学校からの宿題, さらに授業の予習や復習をするなど, 計画的に学習を進められるようにしましょう。
		7年 ↓ 心をかける	◎ 各種テストに向けて計画的に取り組む。 <b>自分で決める7年生</b> ○常用漢字 250 字～300 字程度読め, 900 字程度書ける。 ○正の数・負の数の計算, 文字式の計算 ○英単語の練習 ○英和・和英辞典の活用	○ 目的をもって学習を進められるよう見守り, 子どもの学ぶ力を伸ばしましょう。 ・自主的な学習習慣の定着を促し, 子どもの考えを尊重しましょう。
後期	8・9年 ↓ 心をかける	◎ 進路に向けて計画的に学習に取り組む。 <b>計画を立て, 継続していく8年生</b> ○7年生までに学習した常用漢字に加えて, 300 字～350 字程度の漢字を用いた文章が読める。 ○文字が2種類以上の文字式の計算 <b>人生の節目, 9年生</b> ○夢の実現に向けての計画的な学習	○ 自主的な学習習慣を確立させ, 自己実現につながる学びの大切さに気付かせましょう。 ・子どもの将来について, とともに考え, 家庭が安らぎの場となるように努めましょう。	

# 【8・9年生】

## 国語の学習の 3つの ポイント

その  
1

### 読 む

目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読みましょう。

起→承→転→結



その  
2

### 話す・書く

目的や意図に応じ、構成を工夫して話したり、読み手に分かりやすい文章を書いたりしましょう。

その  
3

### 言 葉

国語辞典や漢和辞典を使って、意味や言葉の働き、語句の使い方を調べましょう。

## 家庭学習の 3つの ポイント

その  
1

### 読 む

一冊の本を最後まで読む、大事な箇所を読む、多くの本に目を通すなど、本や文章を目的に応じて読み進めましょう。

その  
2

### 書 く

新聞の社説やコラムを読み、感じたことや自分が考えたことを家庭学習ノートに簡潔にまとめましょう。

その  
3

### プラス1

入試問題や難易度の高い問題にも、時間をかけてじっくり挑戦してみましょう。



項目 学年	4月の学習のめあて	4月を振り返って	保護者 印	先生 印
8年				
9年				



## 社会の学習の 3つの ポイント

その  
1

### 疑問を大切にす

「なぜ?」「どうして?」といった疑問をもち、そのことについて文献や資料で調べましょう。

その  
2

### 視点を変えて考える

地図や地球儀、統計、年表などの資料を基に、他の事象と比較したり、いろいろな立場に立って考えたりしましょう。

その  
3

### 「つながり」を考える

各分野で学習したことが、どのようにつながっているのか、また、現代との関連を考えましょう。



## 家庭学習の 3つの ポイント

その  
1

### 復習

教科書を繰り返し読んで、分野別ノートをつくり、重要な用語をまとめながら理解しましょう。

その  
2

### 予習

次に学習する教科書の内容を読んでおき、分からない語句や疑問点をチェックしておきましょう。

その  
3

### プラス1

入試問題や難易度の高い問題にも、時間をかけてじっくり挑戦してみましょう。



項目 学年	5月の学習のめあて	5月を振り返って	保護者 印	先生 印
8年				
9年				

# 【8・9年生】

## 数学の学習の 3つの ポイント

その  
1

### 学習したことを基に考える

これまで学習してきた算数・数学を基にして、数や図形の性質を見いだしたり、さらに先を考えたりしましょう。

その  
2

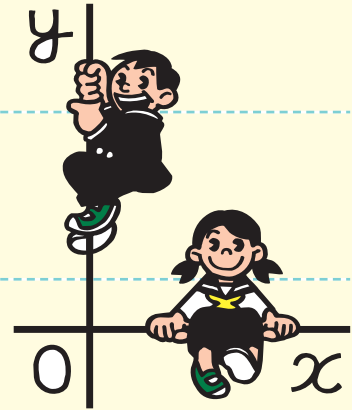
### 筋道を立てて説明する

根拠を明らかにして、筋道を立てて考えたり、説明したりしましょう。

その  
3

### 身の回りで活用する

日常生活や社会の出来事を数学と結び付けて考えてみましょう。



## 家庭学習の 3つの ポイント

その  
1

### 復習

授業中に解いた問題をその日のうちにもう一度解き直しましょう。

その  
2

### 予習

次の授業で学習する内容を教科書で確認しましょう。

その  
3

### プラス1

入試問題や難易度の高い問題にも、時間をかけてじっくり挑戦してみましょう。



項目 学年	6月の学習のめあて	6月を振り返って	保護者 印	先生 印
8年				
9年				

## 理科の学習の 3つの ポイント

その  
1

### 問題を見つける

自然の事物・現象の中から問題を見つけ、観察や実験に取り組みましょう。

その  
2

### 目的意識をもって観察・実験をする

何を知るための観察なのか、何を調べるための実験なのかなど、目的意識をもって観察や実験に取り組みましょう。

その  
3

### 理科の用語を使ってまとめる

観察や実験の結果を分析して、さらに考察を加え、分かったことを理科の用語を用いて自分の言葉でまとめましょう。



## 家庭学習の 3つの ポイント

その  
1

### 復習

教科書を繰り返し読んで、分野別ノートをつくり重要な用語をまとめながら覚えましょう。

その  
2

### 予習

次に学習する教科書のページを読んでおき、分からない語句や疑問点をチェックしておきましょう。

その  
3

### プラス1

入試問題や難易度の高い問題にも、時間をかけてじっくり挑戦してみましょう。



項目 学年	7月の学習のめあて	7月を振り返って	保護者 印	先生 印
8年				
9年				

# 【8・9年生】

## 英語の学習の 3つの ポイント

その  
1

### 英語を話す

失敗を恐れず、学習した英語やジェスチャーを用いて、自分の考えなどを話しましょう。

その  
2

### 英語を書く

学習した基本文を参考にしながら、自分の考えなどを英語で書きましょう。

その  
3

### 英語を磨く

英語の先生や ALT の発音やリズムを集中して聴き、正しい発音やアクセントを練習しましょう。



## 家庭学習の 3つの ポイント

その  
1

### 復習

授業で学習した単語や基本文をその日のうちに書いて覚え、ワークの問題に挑戦しましょう。

その  
2

### 予習

次の授業で学習する教科書の英文を自分の力で読み、分からない単語や基本文をチェックしておきましょう。

その  
3

### プラス1

入試問題や難易度の高い問題にも、時間をかけてじっくり挑戦してみましょう。



実用英語技能検定に挑戦し、資格を取りましょう。【目安】8年生：3～4級，9年生：準2～3級

項目 学年	8月の学習のめあて	8月を振り返って	保護者 印	先生 印
8年				
9年				

## 音楽の学習の 3つの ポイント

その  
1

### 歌 唱

各パートの役割や全体のハーモニーとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら声と気持ちを合わせて歌いましょう。

その  
2

### 楽 器

楽器の特徴を理解し、その楽器や曲にふさわしい音色や表現を工夫しましょう。

その  
3

### 鑑 賞

音楽を形づくっている要素と曲想との関係を理解して聴き、自分の言葉で批評しましょう。



## 家庭学習の 3つの ポイント

その  
1

美しいと感じたり、感動したりする音や音楽にたくさん触れましょう。

その  
2

アルトリコーダーの練習をしましょう。

その  
3

### 定期テスト対策

教科書や学校のワーク、プリントを使って、音楽記号や用語を覚えましょう。



項目 学年	9月の学習のめあて	9月を振り返って	保護者 印	先生 印
8年				
9年				



# 【8・9年生】

## 美術の学習の 3つの ポイント

その  
1

### 表 現

見たことや感じ取ったこと、考えたこと、心の世界などを基に、「形をどうするか」「色彩をどうするか」などテーマを考え、作品のイメージをもつようにしましょう。

その  
2

### 表 現

制作の順序を考えたり、意図に応じた材料や用具を生かしたりしながら作品をつくりましょう。

その  
3

### 鑑 賞

自然や生活の中の造形や、美術作品などを鑑賞するときは、その作品のよさや美しさという視点をもって鑑賞しましょう。



## 家庭学習の 3つの ポイント

その  
1

積極的に夏休みの作品展等の美術作品募集に挑戦しましょう。

その  
2

地域の美術館・博物館等の施設に行き、本物の美術作品を鑑賞しましょう。

その  
3

### 定期テスト対策

教科書や資料集を見て、美術作品に対する自分の見方や身近な生活や環境に関するデザインの発想・構想を深められるようにしましょう。



項目 学年	10月の学習のめあて	10月を振り返って	保護者 印	先生 印
8年				
9年				

## 保健体育の学習の 3つの ポイント

その  
1

### 態 度

協力したり、自分の役割を果たしたりしながら、自己のベストを尽くして運動しましょう。

その  
2

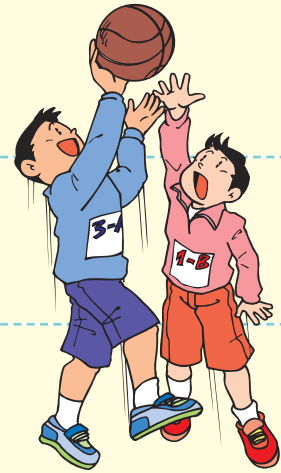
### 知識・技能

それぞれの運動がもっている特性や魅力に応じて、その運動についての知識や技能を身に付けましょう。

その  
3

### 保 健

生活における心と体の健康や安全について学び、自分の心と体の健康を管理しましょう。



## 家庭学習の 3つの ポイント

その  
1

「適度な運動」「十分な睡眠」「バランスの取れた食事」を常に意識して生活しましょう。

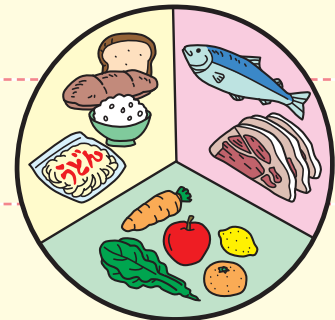
その  
2

休日など勉強や部活の合間にジョギングなどをして体力をつけましょう。

その  
3

### 定期テスト対策

運動の練習内容を考えたり、ルールや審判方法などを「中学体育実技」で調べたりしましょう。



項目 学年	11月の学習のめあて	11月を振り返って	保護者 印	先生 印
8年				
9年				

# 【8・9年生】

## 技術・家庭の学習の 3つの ポイント

その  
1

### 生活場面での技術の活用を考える

生活と技術とのかかわりを理解し、家族の一員として、実践していきましょう。

その  
2

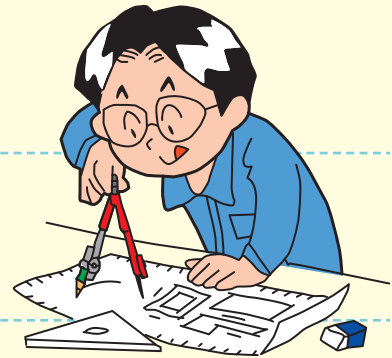
### 生活を工夫する

製作の手順を確かめたり、構想を練ったりして、生活に役立つものを作りましょう。

その  
3

### 家庭生活とのつながりを工夫する

家庭生活と自分とのかかわりについて進んで考えたり、基本的な知識や技術を習得したりしましょう。



## 家庭学習の 3つの ポイント

その  
1

授業で学習したことを、家族や地域の一員として、自分のできることを実践してみましょう。

その  
2

いばらきものづくり教育フェア（中学校技術・家庭科の作品コンクール）、あなたのためのおべんとうコンクールなどに積極的に挑戦しましょう。

その  
3

### 定期テスト対策

教科書の図や写真と、用語の意味を結び付けながら、学習したことの見直しをしましょう。



項目 学年	12月の学習のめあて	12月を振り返って	保護者 印	先生 印
8年				
9年				

## 心 構 え

中学校の卒業生の大部分が高校に進学しています。

では、なぜ高校へ進学するのでしょうか。高校での生活は、みなさんにとってどのような意味があるのでしょうか。ただ友だちがみんな進学するからというのではなく、自分にとって高校がなぜ必要なのか、一体高校とはどのようなところなのか、そこで自分は何を学ぼうとしているのかなどについて考えてみることは、高校への進学を控えた中学生のみなさんにとって大切なことです。

人生 80 年時代と言われている今日、みなさんはこれから先、今まで歩んできた人生の何倍もの人生を生きていくことになります。

目前の高校入学に焦点を当てるだけでなく、長い人生をどう歩いていくかを考え、自分の生き方の選択として高校を選ぶという考え方も必要です。その選択は、自分の将来の夢や希望を実現するためのものであり、自らの人生を切り開くためのものです。進路の選択にあたっては、先生のアドバイスや親のアドバイスによく耳を傾け、よく話し合うことが必要です。そして最後の決断は自ら行うことが大切です。自分の人生は自ら選んでこそ自らのものとなります。

## 希望する学校を知るために

その学校を知るには、身近な先輩の生の声を聞くのが一番です。しかし、「百聞は一見に如かず」という言葉もあるように、自分の将来を見通し、より良い高校生活を送るためには、自分の目で確かめてみることも必要です。

学園祭や文化祭などに出かけ、そこで活躍している高校生や校舎の様子を見れば学校の雰囲気もつかめられるでしょう。遠くから眺めていた学校が身近に感じられ、思わぬ発見をすることもあります。

また、中学生対象の高等学校体験学習は、直接その学校を知り授業の中身を知る上でまたとない機会です。ぜひ、参加してみてください。

茨城県教育委員会 HP「県立学校入試情報」より抜粋（平成 27 年度）

項目 学年	1 月の学習のめあて	1 月を振り返って	保護者 印	先生 印
8年				
9年				

# 茨城県立高等学校入学者選抜について

その1

茨城県は、全県一学区です。県内に住んでいれば、どの高校にも出願可能です。

その2

茨城県の公立高校入試の一般入学には、一部の高校で実施される特色選抜とすべての高校で実施される共通選抜があります。

## ◇全校で学力検査を実施します。

受検者全員が国語、社会、数学、理科、外国語（英語）（「聞き取りテスト」を含む。）の学力検査を受けます。

※定時制課程では学力検査を国語、数学、外国語（英語）（「聞き取りテスト」を含む。）の3教科で実施する学校があります。

### 共通選抜

- ☆すべての高校が実施
- ☆学力検査の成績と調査書の内容を総合して合格者を決定

### 特色選抜

- ☆文化、芸術及び体育等の分野において高校の裁量で実施  
具体的な出願要件は各高校が定めます。  
出願要件を満たしていればだれでも出願できます。
- ☆全員に面接を実施  
作文または実技検査を実施する高校もあります。

学力検査をもうちょっと詳しく見てみよう

その1

検査時間は、各教科 50 分間

配点は、各教科 100 点満点で実施

その2

学力検査の問題は中学校で学ぶ内容をもとに出題されます。

日頃の学習を重視し、学校での学習内容をしっかりと身に付けることが大切です。

詳しい内容については、茨城県教育委員会ホームページで調べましょう。

<http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/index.html>



項目 学年	2月の学習のめあて	2月を振り返って	保護者 印	先生 印
8年				
9年				



# 那珂市の先輩からのメッセージ

9年生の1学期は教科書を中心に勉強する。夏休みは、7, 8年生の内容で“自分の弱いところ”に取り組む。2学期以降は、教科書の学習と並行しながら実力テストなどの難しい問題に慣れること。最後は、50分の時間配分と集中力。

まず、全教科のテスト(模擬テスト)に挑戦してみて、間違えたところをノートにまとめる。それを繰り返していくと、いつしか、自分だけのテキストができる。そのノートを常に見直していけば、できない問題の穴がなくなる。

自分はどこが苦手なのかをしっかりと自分自身で把握することが大切。苦しく辛い時は、楽しいことを考えてポジティブになること。結果がどうであれ、最後まで“全力で”自分の力を出し切れば大丈夫。1-倍努力しろ! 平常心で挑め!

最後まであきらめないこと。目標は常に高くもつ。勉強が嫌いでなかなかスイッチが入らなかった私でも、3か月間は、がむしゃらにやって30~50点を上げることができた。

私は、できるだけ間違いをなくすために、これまでやった実力テストなどの問題の解き直しをした。また、間違えた問題の専用ノートをつくり、二度と間違えないように心がけた。

私は、9年生の夏休みから受験勉強を始めたが「もっと前から始めればよかった」と後悔した。しかし、半年でも強い気持ち次第で変わった。将来のことを想像しながら、繰り返し一つの教材を見直した。応援しているので、がんばれ!

私は、中学校入学から塾に通っていましたが、7年生の頃は、テスト勉強以外は“ノー勉強”の日がたくさんあった。しかし、「〇〇高校に行きたい」「テストでは〇〇点を取るぞ」と目標をもったことで勉強にやる気が出てきた。9年生になって学校で購入した教材は役に立った。ただ問題を解くのではなく、解説やポイントのところを読むことが大切。大切なことは、量より質。それとポジティブな心。自分よりできる人がいるとあわててしまうけれども、自分を信じて最後までがんばってください。

項目 学年	3月の学習のめあて	3月を振り返って	保護者 印	先生 印
8年				
9年				

# 最も心に残った学校行事はこれ！

最も心に残った学校行事はこれ！

8年生で心に残った学校行事名

9年生で心に残った学校行事名

# 1年を振り返って「漢字一文字で表すと」

1年を振り返って「漢字一文字で表すと」

自分にとって、 この1年を表す漢字一文字はこれ！	理由
8年生	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
9年生	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

× 毛

## 那珂市民憲章

(平成二十一年九月三日制定)

わたしたち那珂市民は、那珂・久慈の清らかな流れと豊かな緑に恵まれた郷土を愛し、市民としての誇りを持ち、明るく住みよいまちをめざします。

- 一、すこやかな心と体をつくりましょう
- 一、伝統を大切にし教養をふかめましょう
- 一、助け合い思いやる心をもちましょう
- 一、きまりを守り安全を心がけましょう
- 一、自然を愛し資源をいかしましょう

書名 学習の手引き

発行 那珂市教育委員会  
発行日 平成28年4月1日  
印刷 株式会社 東洋印刷